

産学連携センター 研究成果報告書



研究テーマ

現代の印籠シリーズ開発プロジェクト

目的・概要

石川県の統一ブランド商品として、現代の印籠シリーズを企画するにあたり、石川県中小企業団体中央会よりデザイン試作品の検討依頼があった。本学では作品公募を行い、審査会で学生のプレゼンテーションを実施してデザイン案5点を選考した。それらのデザイン案をブラッシュアップした試作品が完成した。さらに検討を加え順次商品化し、金沢・加賀時絵振興事業協同組合の直営店で販売される予定である。

期 間

2009年10月から2010年3月

委 託 者

石川県中小企業団体中央会

研究体制

プロジェクト型

担当教員

デザイン科 製品デザイン専攻 村中 稔 教授

参加学生

デザイン科 製品デザイン専攻 4年：山田佳織
3年：荒尾知世、川口 玲、筆谷直揮、松岡美紗

PROCESS

2009.10.16
2009.11.27
2009.12.11
2009.12.22-2010.02.08
2010.02.10
2010.02.11
2010.03.19
2010.03.25

プロジェクト説明会
作品応募締め切り
作品審査会
デザイン検討会
デザイン図提出
試作開始
研究会
表彰式・試作発表会

プロジェクト説明会

石川県中小企業団体中央会プロジェクト担当より、学生に向けてオリエンテーションが行われた。石川県の伝統産業に触れてほしいことや、印籠の機能性やファッション性、ブランド商品として販売することなどが説明された。



作品審査会

コンペティション形式で学内に公募した結果、デザイン科と工芸科の学生23名から45作品が集まった。審査会でのプレゼンテーションによる作品説明の結果、5作品が試作案として選ばれた。



デザイン検討・ デザイン図提出

選ばれた作品の試作に向けて、デザイン検討会を6回実施し、素材や色彩検討、細部の仕上げなどブラッシュアップを行った。デザイン図とともに使用イメージを提出した。



表彰式・試作発表会

石川県中小企業団体中央会役員室において入賞者の表彰式と試作品発表、ブランドネーミングの発表が行われた。金沢・加賀時絵振興事業協同組合の協力で短期間に試作が完成した。同組合では5作品について完成度を高め、市場性等を考慮しながら商品化し、直営店である主計町・照乃屋や組合直営の販売店で販売する予定である。



最優秀賞 筆谷直揮 「KOHAKU」
優秀賞 荒尾知世 「折り紙」
優秀賞 川口 玲 「KINOMI」
優秀賞 松岡美紗 「加賀ゆびぬき」
優秀賞 山田佳織 「白木」